

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 奈良県奈良市
 本事業の担当部局名 市民部共生社会推進課男女共同参画室

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	3.2.3 育児休業取得と家事・育児分担の促進							
個別事業名	イクメンハンドブック「IKUMEN HANDBOOK for nara papa」の改定				新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	平成25年度	
総事業費(A)(円)	85,800		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	85,800	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	85,800							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	85,800	0	0	0		85,800	
	対象経費支出予定額	85,800	0	0	0		85,800	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 「奈良市子どもにやさしいまちづくり条例」及び「同プラン」の、子どもにやさしいまちづくりはすべての人にとってやさしいまちづくりにつながるという考えを基礎とし、過年度に引き続き、婚姻件数や婚姻率の低下に歯止めをかけるべく、「子ども・子育て支援推進本部」において少子化対策の推進について検討し、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行う。また、EBPMを意識したうえで、より効果的な取組を実施するために、各世代への必要な調査研究や意見聴取、事業後の参加者アンケート等を実施する。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本ハンドブックは、妊娠期から出産、そして子どもが6歳になるまでの育児に役立つ情報を、パパ目線でわかりやすくまとめている。育児の基本、家庭での関わり方、地域の支援情報に加え、「男性の育児休業」に関するページを設け、制度の活用方法や体験談を紹介。パートナー同士が、子育てに自発的に取り組むきっかけとなり女性の就労継続・経済的自立が少子化対策として有効と考えられる。</p>						
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	「IKUMENHANDBOOK for nara papa」の電子データの版下修正	主として、母子手帳配布時に「IKUMENHANDBOOK for nara papa」の冊子(A5版)を配布していたが、利用者の利便性を考え、令和6年度から電子ブック化した。手軽にスマートフォン等で読んでいただけるようにした。電子ブック内の情報を更新するため、データの版下修正を行う。					
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 男性のさらなる育児参画をめざすため、よりハンドブックについて知ってもらい、また読んでもらえるよう広報・周知していく必要がある。</p>								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率			1.30 (R11)	1.11 (R6)
	婚姻率			3.4 (R11)	3.1 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.11 (R6)	
	婚姻件数		件	1,047 (R6)	
	婚姻率			3.1 (R6)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	「IKUMENHANDBOOK for nara papa」啓発用チラシ配布数	枚	2500 (R8)	2500 (R6)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	<u>90 (R8)</u>	<u>90 (R7)</u>
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					